

策定後、観光戦略を実行する組織体制（案）

1. 実行組織発足の目的

経済や社会の変化に応じて、観光は、その在り方や仕組みが変わります。この変化に対応するため、迅速かつ適切な意思決定し、「観光戦略」に基づく地域経営を官民一体で行う組織（観光戦略推進協議会（仮称））を新たに発足します。

2. 観光戦略推進協議会構築の方針

- ・地域の「稼ぐ仕組み」を実現する体制とします。
- ・持続可能な観光地域となるため、意欲のあるステークホルダーを中心に構成します。
- ・地域の現状を見える化し、効果的かつ漏れ・ダブりのなく事業を推進できる体制とします。

3. 観光戦略推進協議会の役割

- ・「観光戦略」が掲げる理念（＝タグライン）に沿って、観光データの収集・分析、具体的な事業の立案・実行など観光地域経営に必要な事業を推進・実行します。

（事業の例）

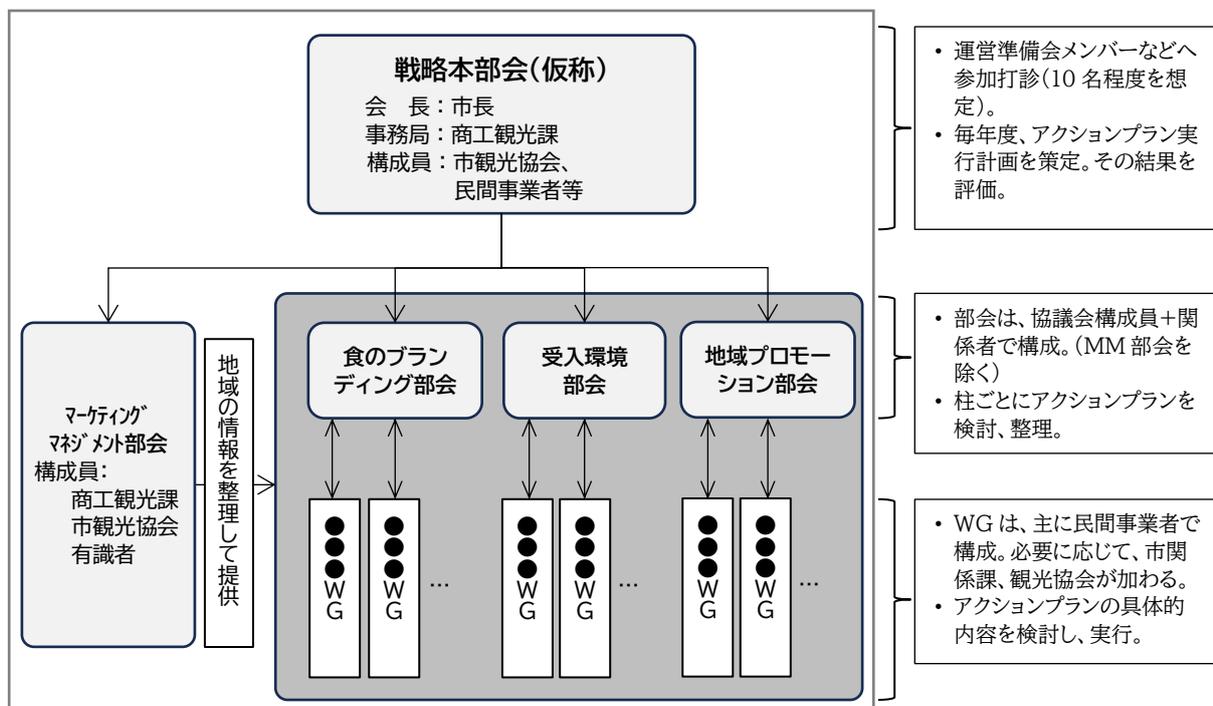
マーケティング/観光客の受入れ体制整備（インバウンドを含む）/財源確保/
施設改修/人材育成/観光DX…など

4. 体制（案）と機能

(1) 体制（案）

下に、体制（案）を示します。

戦略本部会（仮称）の下部に「部会」「WG」を組織します。



(2) 各部会の機能

機能	部会	説明
地域を知る	マーケティングマネジメント部会	地域の実態を調査・整理し、他の部会に提供する。他の部会はデータを基にアクションプランを検討する
地域を動かす	食のブランディング部会	食に基づいた観光商品の開発、オペレーションを担う
	環境整備部会	地域の受入れ体制推進・構築を担う
地域を伝える	地域プロモーション部会	地域を横断的かつ、漏れダブりのない情報発信を担う

(3) その他

- ・推進協議会には民間事業者にも加わってもらいます。まず、戦略運営準備会から10人程度加わってもらうものとし、その後事業展開に応じて増員を予定しています。
- ・各部会の役割や、やるべきことを示した協議会の規約を作成します。